

令和 6 年度
横浜市立高等学校
及び
併設型中学校
学校関係者評価書

対象校：横浜市立横浜総合高等学校

調査全体の日程

調 査 日： 令和7年3月27日

調査対象校：横浜市立横浜総合高等学校

調査チーム：学校運営協議会

記録等担当者 副校長 石米 誠

1 第4期横浜市教育振興基本計画の推進状況

□総合的な探究の時間の取組について

3年次の総合的な探究の時間では個別的な探求であるが、2年次で、地域の行政機関から与えられた課題に取り組むことになっており、家族や教師ではない大人と向き合う良い機会となっている。また、2年次にはグループで活動することから、共同的な学びを体験する機会にもなっている。

年間行事予定を見直す中で総合的な探究の時間数が削減されたこともあり、教員の間に未消化感があつたようである。基礎学力の向上と、コミュニケーション・表現スキルの向上という目標を両立させるために、教員集団で真摯に検討していることがうかがえた。簡単に結論が出るものではないが、今年度の経験をもとに、削減後の時間数にあわせた工夫をする中で、未達成感が解消されることを期待したい。

□魅力ある学びの創出に向けた取組について

日常的に利用している学校周辺地域に関わるだけでなく、矢祭町との交流や、横総未来博で進路候補となる企業や教育機関との接点を設けることで、学校内で完結してしまわない学びの機会を創出している。農業体験活動は縮小したようだが、教員の負担を抑えつつ、学校外とつながる体験・社会貢献活動などの可能性を検討していただきたい。

□多様化する生徒への支援について

もともと不登校ぎみの生徒が一定数入学する学校ではあるが、近年では外国にルーツをもつ生徒も増えてきた。結果として、生徒のニーズも多様化しつつあるといえるが、生徒アンケートの結果をみると個別のニーズへの寄り添いは概ねよくなされている。これは積極的に評価されてよいことと思われる。

2 教育活動の状況

□教育課程の状況について【学校の実態、課程や学科の特色を十分考慮した教育課程の編成がされているか】

中学生の時にコロナ禍を経験した世代が入学してきたことや、広域通信制の普及などを背景に、「通学すること」や集団行動への生徒の意識が変わりつつある。転校や進路変更・退学といった離学者数がこれまで特に増えたわけではないが、卒業時の進路未決定者がこの2年間はやや多めとなっており、教師内でも職業教育・キャリア教育に関する未達成感が存在するようである。基礎学力の保障とのバランスをとりつつ、個別の困難やニーズを抱える生徒が多くなっている学校として、卒業時の進路決定に結びつく指導を模索していただきたい。

□生徒指導・教育相談の状況について【生徒の生活習慣の確立や規範意識の形成にむけて教職員一丸となって取り組んでいるか】

生徒や保護者の7人中6人は「親身になって相談に乗っている」と回答しており、相談体制と取り組みの姿勢は信頼を得ているとみてよいだろう。全国の先駆けとなったようこそカフェも定着しており、安心して相談できる空気がつくられている。今後の課題としては、特定の教員に過重な負担がかかることのないよう、より組織的・全体的に対応できるような体制をつくりあげていくことだろう。

複数のスクールカウンセラーが同時に配置換えされると、継続的・安定的な相談体制を組むことが難しくなる。教育委員会に配慮を望みたい。

3 学校経営の状況

□保護者・地域との連携協力の状況について【学校から教育活動についての情報提供を行い、保護者及び地域との協力体制があるか】

保護者への情報提供に関する満足度はきわめて高い。PTA 活動に対する評価も高いが、その一方で組織化がだんだん困難になってきている。負担の少ない活動のあり方を模索し、より多くの保護者が加入するような組織をめざしてほしい。

□危機管理の状況について【防災計画・防犯計画は実態に即した計画であり、訓練が適切に行われているか】

避難経路は定期的に周知すれば認知度を維持できるものである。今年度の生徒の認知度の上昇は、掲示・周知をきちんと行った結果であろう。

4 いじめへの対応に関する項目

□いじめへの対応について【いじめの未然防止や早期発見、早期解決に組織的に取り組んでいるか】

保護者・生徒の8人中7人は、いじめを許さない環境づくりに肯定的な評価をしている。早期発見・情報共有が重要なので、引き続き、教職員間でアンテナの感度の維持に努めていただきたい。

5 学校関係者評価 提言（380字以内）

今年度の自己評価は、アンケート結果が生み出された理由についての分析に踏み込んでいたのが印象的であった。成果とよべるもの、課題となるもののそれぞれについての分析を教職員で共有し、ぜひ次年度の活動へ生かしていただきたい。